

○留意事項

※申し込み状況により日程が変更になる場合があります。

※原則、午前1種目、午後1種目のエントリーとします(リレーは除く)。但し、全国障害者スポーツ大会の選考希望者はこの限りではない。

※全国障害者スポーツ大会の選考希望者は、必ず2種目エントリーしてください。

○競技日程予定表

	午 前	午 後
トラック種目	8 0 0 m	2 0 0 m
	1 0 0 m	スラローム
	5 0 m	1 5 0 0 m (制限時間あり 1※)
	4 0 0 m	4 × 1 0 0 m リレー
跳躍種目	走幅跳	走高跳
		立幅跳
投てき種目	ソフトボール投	ジャベリックスロー
	ビーンバッグ投	砲丸投

1※ 1 5 0 0 mでは、制限時間（15 分）を設け、その時間内にゴールに到達しない者もレースを終了とする。

○競技方法

競走競技

1. スタートについて、スタートコールは「イングリッシュコール」とします。
不正スタート（フライング）は1回目で失格とします。
2. 50m、100m、200m、400m、800m競走及び4×100m リレーは、セパレートレーンで行います。
なお、800m競走は第1曲走路のブレイクラインまでセパレートレーンで行います。
内側のレーンに入った場合は失格としますが、直線においては他の競技者を妨害しない限り失格としません。
3. 50m競走はスタンディングスタートのみとします。
4. 50m競走で使用する車いすは日常生活用とします。
5. 車いすで800m以上の競走競技に出場する競技者は、競技用車いす（レーサー）を使用しなければいけません。
6. 車いすで100m以上の競走種目に出場する選手はヘルメットを着用して競技しなければなりません。各自で準備していただきますようお願いいたします。
7. 視覚障がい者で伴走者ありの場合は、必ず紐等を持つこととします。紐は非伸縮性で50cm以内のものとします。スタートからゴールまで紐を離してはならないこととします。

跳躍競技

1. 各種目とも順番に1回ずつ合計3回跳躍し、良いほうの記録を採用する。
2. 走高跳のバーの最初の高さは、次頁の通りです。バーの上げ方は一律2 cmとします。

- 障害区分 1：男子 140 cm、女子 120 cm
- 障害区分 19：男子 115 cm、女子 100 cm
- 障害区分 20：男子 130 cm、女子 100 cm
- 障害区分 22、24：男子 100 cm、女子 100 cm

3. すべての視覚障がい者の走幅跳の踏切板の長さは 1 m とします。

障害区分 18 に属する者は、競技エリアで光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着しなければならないこととします。

投てき競技

1. ソフトボール投、ビーンバッグ投、ジャベリックスローは、練習投は無く、連続 **3 回** 投げて、一番よい記録を採用します。

なお、連続して投げる場合の 1 回の試技時間は、用具類を手渡した時点から 1 分以内とします。

2. 砲丸投は、練習投は無く、番号順に 1 回ずつ合計 **3 回** 投げ、一番よい記録を採用します。

砲丸の重量一覧（単位：kg）

		男子				女子			
障害区分		1 部	2 部	3 部	4 部	1 部	2 部	3 部	4 部
肢 1	2	4	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
	3								
	4								
	5								
	6								
肢 2	8	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
	9	4	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
	10								
肢 3	13	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
	14								
	15								
	16								
視	18	4	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
	19								
聴	20	4	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
知	21	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
	22	4	4	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721
精	24	4	4	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721	2. 721

介助者について

介助許可証（ビブス）の交付を受けた方に限り競技場内に入場することが出来ます。

介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技場内では競技者の競技上有利になるような助言等をしてはいけません。競技役員から注意・警告を受け、聞き入れない場合は、該当選手を失格とします。また、競技場内での写真（ビデオ）撮影は禁止です。

原則、事前申請とします。

同封の介助許可申請書を申し込みと一緒に提出してください。